

十字路口

岸田首相は銀行員経験のある初の首相だろう。そう思っ
て考えると合点がいくところ
がある。まず、酒の強さは必
須ではないが、聞く力が無け
れば銀行員は務まらない。

経済政策では新型コロナウ
イルス・ショックという危機
対応を一番の課題とした上
で、新しい資本主義を打ち出
してきた。その姿はよく見え
てこないが、短期的な景気対
策よりも長期的な成長力向上
を重視しているのだろう。

就任早々に打ち出した「コ
ロナ克服・新時代開拓のため
の経済対策」からも首相の考

銀行員経歴で読む首相の政策

え方が読み取れる。財政支出
規模は56兆円と巨額だが、コ
ロナ対応に6割、新しい資本
主義に3割、従来型の公共事
業に1割となっている。最悪
のシナリオを想定した上で、
資金繰りに窮することがない
ようにし、その上で、長期的
な成長力を高めるための資金
を提供するという銀行業務の
基本に通じるものがある。

一方で、返済のための資金
を貸し出すことは、企業の財
務の健全性に問題があるとい
うことになるので銀行員は慎
重だ。財政の健全性を確保し
なければいけないという問題
意識は持っているはずだ。

今の金融政策には懐疑的で
はないか。銀行業務の経験が
あれば、使われない日銀当座

預金を積み増しても効果が無
いことは肌で感じている。銀
行業務の原理原則を無視した
マイナス金利政策を評価して
いるとも思えない。一方で、
金利が急上昇した時の恐ろし
さも理解しているはずだ。

首相は、デフレ脱却は重要
と言っているが、インフレ懸
念が強まってくる中、物価が
2%上がるのが、デフレ脱
却とは思っていないだろう。

競争力を高め、成長力が高
まり、所得も増えてくる中で
物価も下げ止まる。そういう
状況をデフレ脱却と考えるな
ら、不毛なデフレ競争を終わ
らせる道も見えてくる。

(三菱UFJリサーチ&コン
サルティング

研究主幹 鈴木 明彦)